



西脇市内の先生方へ 2018年12月
NISHIWAKI 学校教育課だより No.4
◎Topic: 学校のベクトルをどう合わせるか
◆ 西脇市立天美小学校の取組について
◆ 西脇市立天美小学校の取組について

西脇市内の先生方へ 2018年12月
NISHIWAKI 学校教育課だより No.5
◎Topic: 学校のベクトルをどう合わせるか
◆ 西脇市立天美小学校の取組について
◆ 西脇市立天美小学校の取組について

古い校舎がピカピカに見える理由

兵庫県西脇市教育委員会からお便りをいただきました

昨年(2018年)の1月22日(木)兵庫県西脇市より、教育委員会及び学校から14名の方が、学力向上をテーマに天美小学校に学校視察に来られました。

とても熱心な視察で、2時間にわたって全ての学級の授業を参観された後、松原市と天美小学校の取り組みを報告し、たくさんの質問・感想も頂きました。

視察の後、天美小学校の視察で気づかれたこと、参加者の感想などを二度にわたって「学校教育課だより」にて、西脇市内の学校に発信していただきました。

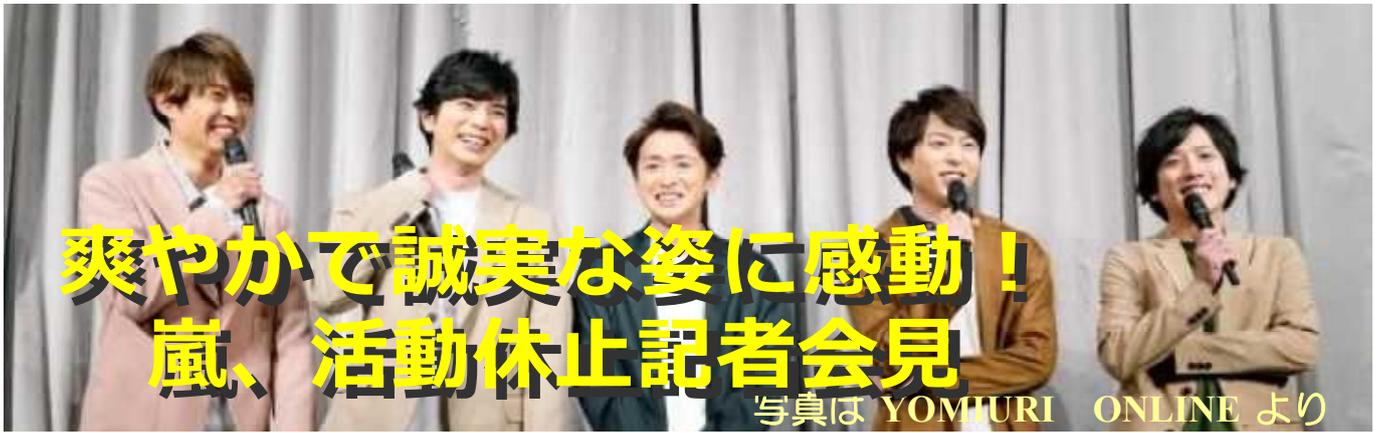
「たより」に載せていただいた感想の一部を紹介します。

- ・ 今後参考となる取組の多くを見つけれられた研修となった。また本校で進めている取組を見直す機会にもなった。…中略…組織を構成する職員同士の学び合う場の設定や学びを共有する工夫等の多くを学んだので、本校に取り入れられるところを考察し、本校の取組の幅を広げていきたい。
- ・ 今回、小学校に訪問させていただき、様々なことを学ばせてもらう機会になった。その中で、教委と学校の近さも感じた。若い指導主事の方が、学校と協働で取り組んでいこうとする姿をみてすごいと思った。ボトムアップでもトップダウンでも、一緒にやっいていこうとする姿勢に好感がもてた。本校も反省し、自分たちの取組を教委と一緒に進めていければと思った。

そして、「たより」の最後を次のようにまとめていただきました。

「…どの先生方もとても丁寧な字で黒板に書かれていました。そんな教室は、どこも一歩足を踏み入れた瞬間から、担任の先生の教室へのこだわりが伝わってきました。また同時に、先生方の子どもたちを大切に思う気持ちやあたたかな空気も伝わってきました。橋本校長先生は校長室だより第1号で、学校で子どもたちに“育てたい習慣”をあげ、『私たち大人の役割、教育の役割は、子どもたちに良い習慣を育むことだともいわれています。…中略…』と書かれています。学校全体で良い習慣を身に付けようとする取組が、古い校舎がピカピカに見える理由なのだと感じました。」

いただいた評価を励みに、これからも家庭と学校で、良い習慣の育成に努めましょう！



先週、嵐の活動休止記者会見を観た。まだ、30半ばの若者だが、20年間のグループ活動で築いてきた信頼関係、同時に、そのことを土台にして一人ひとりが成長したのだと感じる、爽やかで誠実な大人の記者会見に感動した。

途中、「無責任では？」という微妙な質問にも、大野君をかばうようにメンバーが誠実に答える姿には、思わずグッときた。

芸能人としての魅力も凄いが、一人の人間として輝いてるスター！だと思った。



先日、市原悦子さんが亡くなりました。若い方は、『家政婦は見た！』でお馴染み、私は『まんが日本昔ばなし』の時田富士男さんとのコンビが懐かしい。

その番組の独特のゆっくりしたナレーションは、「子どもが心地よく眠れるような声で…」ということが始まったらいい。市原さんたちは、世の中がいろいろなことにせき立てられている状況に抗して、“子どもだけは、ゆったりと”との想いで、「むかし、むかし、あるところに…」から始まる独特のナレーションになったそう。今の子育てにも大切にしたい想いだ。



平成28年9月、その年度2回目のリニューアルをしてから、先日累計 60000 アクセスを超えました。



2016年度：8897件

2017年度：21246件

年間集計

2018年度：31490件

年度のアクセスも、確実に増えています。

今後も、ご家庭の茶の間のほっとできる話題を提供できるよう努めていきます。